（参考）ＴＲＬ（Technology Readiness Level：技術成熟度）

○　ＴＲＬとは、ＮＡＳＡ（アメリカ航空宇宙局）によって作られた、特定の技術の成熟度レベルを９段階で評価する指標。
○　本事業と同様に研究開発を進める「戦略的イノベーション創造プログラム（ＳＩＰ）」や「中小企業イノベーション創出推進事業（フェーズ3基金事業）」においても、ＴＲＬを活用して公募・評価を実施。
○　本事業においても、ＴＲＬに基づき、事業開始時及び事業終了時に求める技術の成熟度の目安を明確化。

（TRLに基づいた公募・評価を行っている事業例）

・フェーズ3基金：公募対象をTRL５（使用環境に応じた条件での技術検証）以上に設定、
事業終了時にはTRL７（実運転条件下でのプロトタイプシステム実証）の完了を目標としている
（公募要領に記載されている例）『2025年度中に試作機の開発（TRL5）完了・2026年度中に実際の作業環境での現地実証（TRL6）完了・2027年度中に多様な営農環境下での現地実証現地実証完了（TRL7）』　等

・SIP（第３期）：各研究課題の達成目標をTRLで予め設定し、公募要領に記載
例：『2027年度末（第3期SIP終了時点）大豆等のゲノム情報と表現型情報等とを統合的に解析する育種プラットフォームの構築　【TRL6】』等

TRL	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	基本原理の観測	技術コンセプトの策定	実験による概念実証	実験室での技術検証	使用環境に応じた条件での技術検証	使用環境に応じた条件での技術実証	実運転条件下でのプロトタイプシステム実証	システム完成・認証	システム運用
	（動作原理の確認）	（開発する機械・システムのコンセプト決定）	（要素技術の試作・ラボ実験）	（要素技術を統合・ラボ実験）	（試験圃場での動作確認）	（試験圃場での継続動作確認）	（実圃場における実運用確認）	（市販可能な実機完成）	（市販化・運用）
民間型			（事業開始時の技術成熟度）				（事業終了時の技術成熟度）		
現場ニーズ									
技術改良									